

「くらフォーラム in 八ヶ岳」及び企画展「くらのある風景」

取り組みに至る背景・事業の目的

- 八ヶ岳山麓に多く見られる「くら」は、木と土を組み合わせる寒さの厳しい気候に適応した地域文化の象徴である。この地域の資源を見直そうと、住民有志が「くらフォーラム in 八ヶ岳」実行委員会を組織した。
- 今回は、「くら」の持つ文化的背景と機能性に焦点を当てて再評価し、現代の生活に生かす方法を探るため、「くらフォーラム in 八ヶ岳」を開催する。美しい八ヶ岳の姿、豊かな森林、古い「くら」が今も残る集落の景観などを生かし、人、もの、資源が循環する環境と共生した地域社会の実現を目指すため、地域の資源を生かしたまちづくり・むらづくりに関わる人々を招いて意見交換を行う。

事業内容

- 「くらフォーラム in 八ヶ岳」の開催
 - ・平成 21 年 11 月 7 日～8 日（茅野市議会棟ほか）
 - ・安藤邦廣筑波大教授ほかによる講演会
 - ・パネルディスカッション
「板倉の里から 21 世紀の提言」
 - ・トークセッション
「地域資源を生かしたくらしと文化」
 - ・宮川寒天蔵でのギャラリー、イベントの開催
- 企画展の開催
 - ・10 月 17 日～25 日（茅野市文化センター）
 - ・八ヶ岳山麓を拠点に活動している写真家や洋画家の「くら」や八ヶ岳山麓を題材にした写真、絵画の展示

事業効果

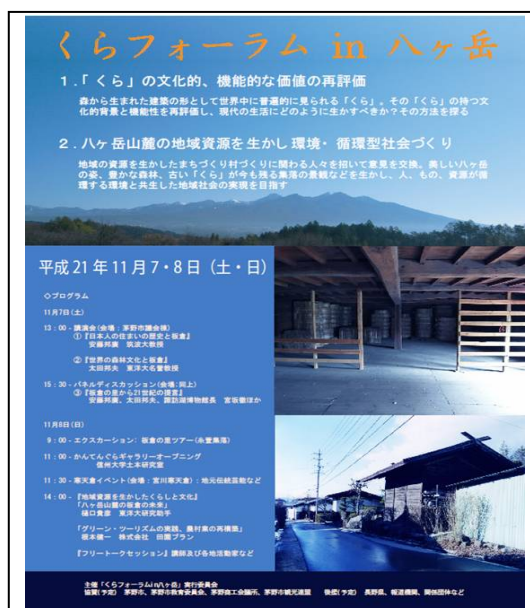
- フォーラム、企画展、イベントには大勢の参加者が得られ、また、報道機関等の取材報道で大きく扱われ、住民の意識喚起、周知効果が期待以上であった。
- イベント会場として活用した宮川寒天蔵がある茅野市宮川地区では、地域の伝統・文化遺産である「くら」を地域資源として住民が再認識するきっかけとなり、地域資源を活用したまちづくり意識の醸成につながった。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取り組みなど

- 今回のフォーラムを引き続き開催し、諏訪地域の「くら」についての情報提供、活用についての情報交換、まちづくりの相互交流を行う。
- 他地域の「くら」にも焦点を当て、地域資源を活用したまちづくり意識の醸成を目指す。

【選定のポイント】

くら文化の発信を通して、地域の産業・伝統文化遺産である「寒天蔵」といった地域資源を地域住民が再認識するきっかけとなり、地域資源を活用したまちづくり意識の醸成につながった。



【くらフォーラム in 八ヶ岳】

団体名「くらフォーラム in 八ヶ岳」実行委員会 (茅野市)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 事務局 朝倉 清 電話 0266-78-2442	事業費	1, 814, 167 円
	支援金額	1, 247, 000 円